平成30年度

桑野小学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

①「ユニバーサルデザインの視点を活かした分かりやすい授業の構築」

②「すべての学習活動における各学年の発達段階に応じた言語活動の充実」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	中妻　真裕
		教頭	中川　雅博
		指導教諭	兼任　圭子
		教務主任	米田　幸子
		特別支援教育コーディネーター	久保　文香、　森　郁子

校長

中妻　真裕　印

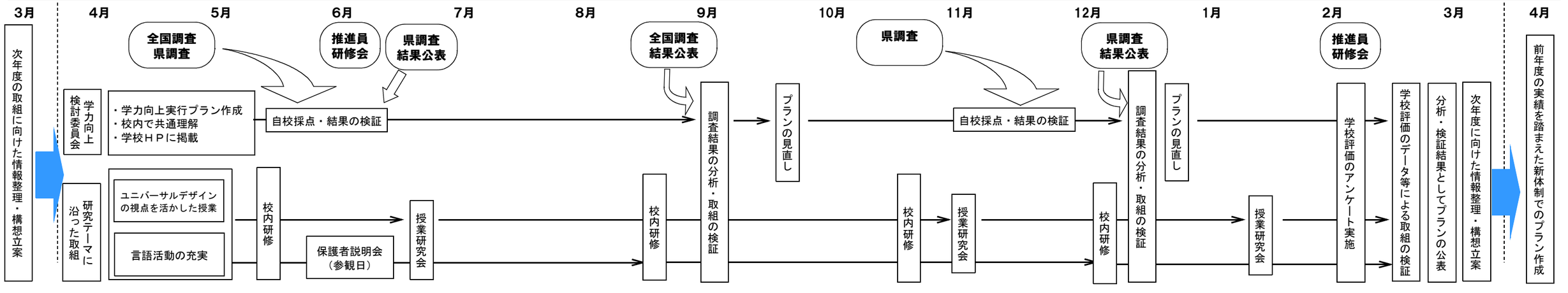
（１）基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		具体的目標（目指す子供の姿）	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	与えられた学習課題にはまじめに取り組むことができ，漢字の読み書きや基本的な計算については，70～80%程度の定着が見られる。	①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができている。 ②理解・使用できる語彙を増やし，内容や要旨をとらえながら読んだり，目的や意図に応じて書いたりできる。	①各学級の80%以上の児童が，単元テストにおいて，正答率を80%以上にする。 ②大事なことを的確に聞く，読む，考えたことや伝えたいことを的確に話す，書くことができる児童を各学級で90%以上にする。			
課題	学習の積み重ねが難しく，知識・技能の定着が困難な児童がどの学年にもいる。語彙数が少なく問題を読み取る力や文章を書く力が弱い。	**具体的方策（教員の取組）** ①授業において，ユニバーサルデザインの視点を活かした指示・発問の出し方や活動方法，板書の工夫を図る。 ②子どもの実態に即した課題解決的な学習を取り入れた単元を開発し，目的や意図に応じて必要な情報をとらえながら読む活動を充実させる。	**取組指標** ①目標と活動，発問，子どもの言語活動に整合性があるかに焦点を絞り，研修をすすめ，改善点を明確にする。 ②各学年の発達段階に応じた教材を活用して，視写の学習を全学年毎日実施する。		**評価** **次年度における改善事項**	

（２）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		具体的目標（目指す子供の姿）	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	学級の中だけでなく，全校朝会や様々な集会等においても，自分の考えを最後まではっきりと伝えることができる児童が多い。	各教科，学級活動，総合的な学習の時間において，目的に応じた必要な情報を収集・整理・分析して，根拠や理由を明らかにしながら，自分の考えを豊かに表現することができる。	「自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることが得意」と答える児童の割合を80%以上にする。			
課題	自分の考えの基となる情報を収集したり，整理・分析したりする力が弱い。自分の考えの根拠や理由を明確にして，筋道を立てて文章で表現することに課題がある。	**具体的方策（教員の取組）** ①課題解決的な学習・探究学習を積極的に取り入れる。 ②すべての学習活動の中に，ホワイトボードやタブレット端末を活用したペア学習・小集団学習を積極的に取り入れ，「聴く・読む・書く・話す」活動を充実させる。	**取組指標** 育てたい力を明確にして，生活科・総合的な学習・生活単元学習の体験・交流学習を中心に各教科・領域の教育内容の関連を明確にし，各教科等の知識・技能が積極的に活用されるカリキュラムデザインを作成し実践する。		**評価** **次年度における改善事項**	

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		具体的目標（目指す子供の姿）	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	与えられた学習課題や家庭学習にまじめに取り組み，ほぼ100%の児童が課題の提出ができている。	①自分のよさを認識し，夢や希望をもち，工夫して日々の授業や家庭学習に積極的に取り組むことができる。 ②学校や家庭で，進んで読書をする習慣が身に付いている。	①2ヶ月に1回の「家庭学習の手引き」に示されている家庭学習のテーマの達成率が90%以上にする。 ②学校図書館からの図書貸出数が年間30冊以上の児童が全体の80%以上にする。			
課題	自ら課題を見つけて自主的に学習に取り組むことが苦手である。 読書の習慣が十分身に付いていない。	**具体的方策（教員の取組）** ①授業において，児童が主体的に課題解決・探究することができる場を設定する。 ②毎月「家庭学習の手引き」を配付し，家庭学習として取り組むテーマを提示・指導し，家庭での望ましい時間の過ごし方の習慣化を図るとともに，学校・家庭両者での子ども理解の手立てとする。	**取組指標** ①がんばって授業に参加しているという児童の割合を90%以上にする。 ②2ヶ月に1回，家庭学習のテーマを提示・指導する。 ③毎月１回「家庭読書の日」を設ける。		**評価** **次年度における改善事項**	

平成30年度　学力向上ロードマップ